

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成26年9月定例会● 一般質問

北郷幹夫 議員 塩史子 議員

ふるさと納税で経済効果を

ふるさと納税のお礼に新米や特産品を贈り、税収の確保と町の魅力をPRなど地域活性化につながるような方策を考えるべきではないですか。



特典は導入していない

礼状と町の復興を伝える冊子を送ることで感謝の気持ちを伝えたいと考えています。



町産特別栽培米を送付する計画

広野町産特別栽培米と無添加味噌を「ふるさと納税」にご寄付いただいた方にお届けすることを通して、生産農家への支援としていきたいと考えます。



広野町で収穫された大豆

8人の議員が町政を問う 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いたずらものです。

一般質問席（広野町議会議場）



北郷 幹夫 議員



檜葉沖にある洋上風力発電施設

洋上風力発電実証研究の現状は

遠藤町長／安全性、信頼性、経済性等の検証を進めている

北郷

国が行っている洋上風力発電実証研究の現在の進捗状況と今後の取り組みは、どうなっていますか。

町長

平成25年11月に2メガワット風車の運転が開始され、現在、2基目の7メガワット風車の組み立てを小名浜港で行っていて、今年の夏ごろに完成する予定です。

集落支援員の配置を検討せよ

遠藤町長／行政区長が役割を果たしている

北郷

国（総務省）では、市町村職員と連携し、「目配り」として集落の巡回、状況把握等をするため、集落支援員を配置する制度があります。そこで、町で制度を活用し、集落支援員の配置を検討すべきではないですか。

町長

町民の繋がりを取り戻すため、町外では絆事業で対応し、町内では地域コミュニティの推進を行政区単位で進めています。このような状況から、行政区長が集落支援員の役割を果たしていると認識しているため、今後の状況等を踏まえ検討したいと考えています。



古着回収で資源の有効利用を

リサイクルボックスを設置せよ

遠藤町長／前向きに検討

北郷

町では、役場車庫内で衣類、寝具（布団カバー、シーツ等）、タオル地を収集していますが、町民には、あまり知られていないのではないですか。

町長

繊維類の古着な資源ですので、リサイクルできることを改めて広報紙、ホームページ等で解りやすく周知し、リサイクルボックスの設置に向け、前向きに検討します。

自立つ場所に、衣類ボックスを設置し、リサイクルを図るべきではないですか。